

12月13日(火)

2011年(平成23年)

発行所：札幌市中央区北4条西6-1

〒060-8643 電話 0570-064-988

毎日新聞北海道支社

業界健全化へ資格制度化

遺品整理士 道内第1号に中山さん



道内で初めて遺品整理士の認定を受けた中山さん
札幌市白石区で

千歳市のリサイクル業者などが、11月からスタートした全国初の資格制度「遺品整理士」の道内第1号に、札幌市の中山猛さん(51)が認定された。中山さんは人形やお守りなどを供養して処分する会社「焚上協会」を営んでおり、トラブルも少ない遺品整理について「行政も資格を認めたり、指針を作ったり、導いていく必要がある」と話している。

この制度は、千歳、札幌、江別にある6社で作る「遺品整理士認定協会」が、少子高齢化や核家族化に伴い需要が増える遺品整理の業界健全化を目的に創設。作業手順や心構え、関係する保険や法律について学び、試験をクリアすると資格が与えられる。同協会によると、中山さんは

「遺族の気持ちくみ」供養

3人目の認定になるという。

中山さんは13年前から札幌市内の納棺・遺体搬送会社に勤務。09年に「お焚き上げ」の部門を独立させる形で会社を起した。遺品整理は孤独死のケースが多く、異臭がして、うじが発生している現場もある。その中で供養品とリサイクル品、一般ごみの三つに分類して運び出し、供養品は専門施設で焼却するのが仕事だ。これまで依頼は月1件程度だったが、最近は8件あった月もあり「需要は今後さらに増えるだろう」とみている。

遺品整理を請け負う業者は道内だけで200社を超えるのみならず、同協会は利用者が業者を選ぶ際、資格が判断材料の一つになることを期待する。中山さんも「遺品整理は遺族の気持ちをくんだ方法でやったのかどうかが大切。遺品をきちんと扱える業者が増えてほしい」と資格の広がり歓迎する。

【田谷美晶】